

『人間』 作：ポチ子

酷い言葉を投げつけられた時に、

この人は、私を人間だと思っていないんだ。

だから、こんな酷い事が言えるのだと、

そう思っていた。

でも、気づいてしまった。

人形やロボットに、

一人で怒鳴る人間などいない。

この人は、

私が感情のある人間だと分かっている。

だからこそ私に向かつて、

醜い顔で、汚い唾を吐きながら、

そんな言葉を投げつけているのだ。

私という人間を、

傷つけてやろう、

踏みにじってやろう、

泣かせてやろう、

そんな明確な悪意を持ちながら。

私は、恐ろしくなった。